

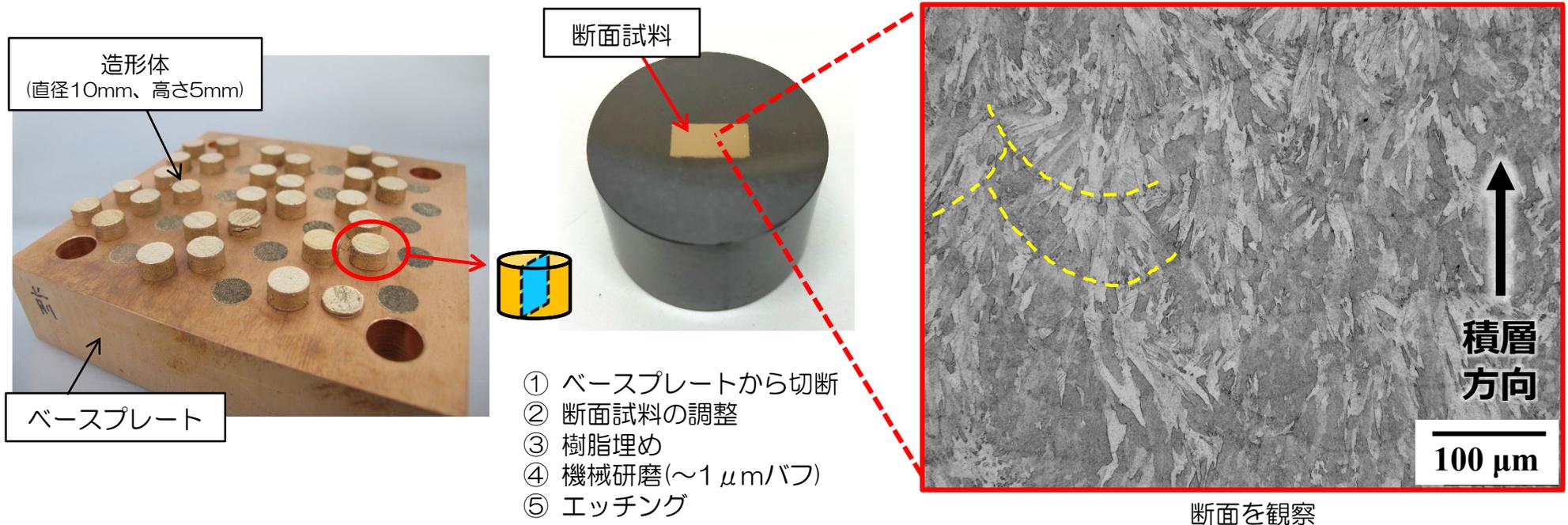
## 金属顕微鏡システムを用いた金属3Dプリント造形体の組織評価

金属顕微鏡システムを用いた一つの事例として、近年急速に普及が進んでいる金属3Dプリンターによって作製した銅合金の金属組織を評価した事例を紹介いたします。

銅合金(Cu-10Sn)粉末による  
金属3Dプリント

試料調整

金属顕微鏡システムによる組織観察



金属顕微鏡システムにより、金属3Dプリンターで作製した銅合金の金属組織は、

- ・ひとつひとつの結晶粒は積層方向に伸長しており、数十μmの幅を有する
- ・レーザ照射跡と思われる鱗状の組織を呈する(図中の黄線)

という特徴があることが分かりました。